

完了報告書

日本財団 会長 笹川 陽平 殿

報告日付: 2024年6月10日

事業ID: 2023S01912

事業名: 鳥取県鳥取市の「子ども第三の居場所」常設ケアモデルにおける子どもへの体験機会の提供(2023)

団体名: 特定非営利活動法人こども・らぼ

代表者名: 岡 武司

TEL: 070-3789-4565

事業完了日: 2024年6月30日



■ 契約時

事業費総額	:	650,000 円
自己負担額	:	0 円
支援金額	:	650,000 円

■ 箇所は(様式3)収支計算書より自動転記

■ 事業完了時

事業費総額	:	461,648 円	収支計算書の黄のセルの値
自己負担額	:	0 円	収支計算書の緑のセルの値
支援金額	:	461,648 円	収支計算書の赤のセルの値
支援金返還見込額	:	188,352 円	(収支計算書の青のセルの値)

1. 事業内容

■ 事業内容1

(1) 支援契約書記載の事業内容(予定)

シーカヤック体験の実施
(1) 期間: 2023年8月中実施予定
(2) 場所: 鳥取県岩美郡岩美町
(3) 対象: こども12名、大人4名
(4) 内容: 体験機会の少ない子どもたちが地域の海でシーカヤックを体験し、体を動かすことの心地よさと自然を愛する心を育む。

(2) 事業完了時の事業内容(実績)

シーカヤック体験
(1) 期間: 2024年7月28日実施
(2) 場所: 鳥取県岩美郡岩美町
(3) 対象: こども11人、大人4人
(4) 内容: 浦富海岸でインストラクター指導の下シーカヤック体験を行った。



(3) 成功したこととその要因

毎年の行事として実施しているため、インストラクターとの信頼関係ができている。初めて体験する子どもたちのために事前学習を行ったり、漕ぐのが難しい子どもたちには大人がタンデムで乗ったりすることで安心を与え、事故なく実施することができた。

(4) 失敗したこととその要因

なし。

(5) 事業内容詳細

岩美町の浦富海岸で自然の雄大さを感じながらシーカヤック体験を行った。活動の前に海岸のごみ拾いを行い、環境を守ることの大切さを伝えた。活動後は、感想を描いたり、心に残った場面を絵に描いたりして表現活動へとつなげた。

■事業内容2

(1)契約時の事業内容

鳥取県内旅行の実施(2回)
(1)期間:2023年8月中、2024年5月2日実施予定
(2)場所:鳥取県内
(3)対象:こども12名、大人4名
(4)内容:生活困窮等の理由により体験機会の少ない子ども達が地域の名所を訪れ、故郷の歴史や故郷を愛する心を育む。

(2)事業内容の実施(完了)状況

大山森の国フィールドアスレチック観光
(1)期間:2024年5月2日
(2)場所:鳥取県西伯郡大山町
(3)対象:こども12名、大人4名
(4)内容:大山森の国フィールドアスレチックで体験活動とBBQを行った。
いちご狩り
(1)期間:2024年5月27日
(2)場所:鳥取県鳥取市
(3)対象:こども12人、大人3人
(4)内容:市内のいちご農家でいちご狩り体験を行った。
砂の美術館
(1)期間:2024年4月22日
(2)場所:砂の美術館
(3)対象:こども10人、大人4人
(4)内容:砂の美術館の砂像鑑賞

(3)成功したこととその要因

毎月行っている「こども会議」で出てきた意見をもとに、イベントを実施したため、子どもたちの興味関心がとても高かった。

(4)失敗したこととその要因

なし。

(5)事業内容詳細

大山森の国フィールドアスレチックでは、貸し切りバスで送迎を行い、昼食は現地でBBQを行った。当日は天気も良く、野外で思い切り体を動かして楽しむ姿が見られた。
いちご狩りでは、市内のいちご農家で複数の種類のいちごの食べ比べを行った。そのまま近くの足湯に行ったり、外食したりと、地域を再発見する良い機会となった。
砂の美術館ではリニューアルされたばかりの「フランス展」を鑑賞した。精巧に作られた砂像に皆が思い思いの感想を書くことができた。

■事業内容3

(1)契約時の事業内容

県外旅行の実施
(1)期間:2024年3月中実施予定
(2)場所:岡山県真庭市
(3)対象:こども12名、大人4名
(4)内容:生活困窮等の理由により体験機会の少ない子ども達が県外の観光地を訪れ、公共の場でのマナーを学び、豊かな心を育む。

(2)事業内容の実施(完了)状況

児童用書籍の購入
b&g鳥取利用児童から要望を聞き取り、児童書、マンガ等の書籍を購入した。

(3)成功したこととその要因

児童の話し合いの場を作り、話し合いによって要望をまとめさせた。子どもたちの興味のある書籍を購入することができた。

(4)失敗したこととその要因

支援金事業での実施を計画していたが、鳥取市から別の資金での事業実施を指示されたため、支援金の利用ができなかった。

(5)事業内容詳細

県外観光を予定していたが、実施前に鳥取市から事業実施の際に使用するお金について支援金以外の利用を指示されたため、支援金事業を利用しての県外旅行は実施できなかった。
支援金事業の利用を児童用書籍の購入に変更した。

2.契約時事業目標の達成状況:

(1)支援契約書記載の目標

1. シーカヤック体験の実施
2. 鳥取県内旅行の実施
3. 県外旅行の実施

(2)目標の達成状況[700文字以内]

入力文字数	211	文字数チェック	OK
<p>2023年度は12人の子ども達が利用することとなった。 シーカヤック体験は例年通り行うことができた。県内観光は3箇所実施したが、「旅行」と呼べるような事業は1つしか実施できなかった。 県外旅行は鳥取市への事業移管の影響で、本事業での実施はできなかったが、こどもから要望の多かった書籍を購入するなどして代替とした。 子どもたちが意見をいえる場を設定し、それをもとに行事を設定したため、満足度の高い事業を実施することができた。</p>			

3.事業実施によって得られた成果

家族で余暇を過ごす経験の少ない子どもたちに、長期休業、代休等を利用して特別な体験を提供することができた。
子どもたちが拠点で楽しく過ごすことができる環境を整備することができた。

4.活動を通じて明らかになった新たな課題と対応案

長期休業、学校行事の代休などを利用して行事を設定したが、利用者が複数の小学校にまたがっており、代休が同一日出ないために行事の実施ができないことがあった。無理に実施すると不公平感が出るため、あくまで全員が参加可能な日程にこだわって今後も事業を実施していきたい。
鳥取市への事業移管の影響で、支援金事業として予定していた行事を鳥取市の補助事業へとスライドさせることとなった。事業実施に向けて今後は行政との対話を密にしていく。

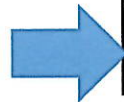
5.事業成果物

(1)支援契約書記載の成果物名称

完了報告書

(2)事業完了時の成果物名称

完了報告書



(3)未作成となった要因

なし

(4)成果物を登録したウェブサイトのURL

<https://fields.canpan.info/report/detail/31430>